

平成29年2月11日
第2回日高がん情報講座



がん相談支援センターのご案内

苫小牧市立病院 がん相談支援センター
がん専門相談員 牧野祐司



がん相談支援センターってなに？

全国のがん診療連携拠点病院などに設置されている、
がんに関する相談窓口です

《がん診療連携拠点病院》

- 全国どこでも質の高いがん医療が受けられるように国が指定した病院。指定された病院は治療の内容や設備、がんに関する情報提供などについて一定の基準を満たす。
- 最寄りのがん診療連携拠点病院 = 王子総合病院

《北海道がん診療連携指定病院》

- 北海道ががん診療に関する独自の要件を基に指定した病院。
- 最寄りの北海道がん診療連携指定病院 = 苫小牧市立病院

がん相談支援センターはどんなところ？



- がん相談支援センターには、がんの病気のことや治療法、地域の医療施設、療養を支える仕組みなどの情報が集められています。
- がんという病気にはさまざまな不安や心配がつきまといます。そんな患者さんや家族のお話にじっくり耳を傾け、一人ひとりに合った解決方法をとともに探していくのが、がん相談支援センターです。

がん相談支援センターの利用の仕方は？



■対象者／料金

患者さんやご家族のほか、地域の方々はどなたでも 無料でご利用いただけます。

■相談担当者

センターでは、がん医療について詳しい看護師や、生活全般の相談ができるソーシャルワーカーが相談員として対応しています。

■相談方法

相談は、面談または電話でお話を聞く方法があります。

がん相談支援センターはこんなところ



●がん相談支援センターはこんなところ

あなたの理解を助けます



あなたの心を支えます



あなたと一緒に探します



あなたの生活を支援します



あなたに合った情報を提供します



あなたの家族も支えます



よくある相談のご紹介

がんの予防や検診について

- ・がん検診はいつ、どこで受けられるか。
- ・がん検診で再検査の通知ができ、不安でたまらない。

がんの疑いについて

- ・がんの疑いがあり、大きな病院で検査するように言われたが、どこに行ったらよいかわからない。

医師の説明について

- ・担当医の説明の中で、わからないことがあった。
- ・担当医に質問をしたいが、きっかけがつかめない。

検査や今後の生活について

- ・これから、どのような検査が必要か。今後の流れを知りたい。
- ・がんがどれくらい進行しているか不安。
- ・生活上、注意することはあるか。これまで通りの生活ができるか。



よくある相談のご紹介

がんの治療について

- ・自分のがんの「標準治療」について詳しく知りたい。
- ・担当医から、2つの治療法を提示されたが、決められない。
- ・自分のがんの場合、手術をしたら、どれくらいで退院できるか。

情報収集について

- ・自分のがんについて、もっと詳しい情報を入手したい。
- ・数少ない珍しいがんと言われた。治療件数の多い病院を知りたい。
- ・インターネットで調べたが、必要な情報が見つからない。

さまざまな治療法やセカンドオピニオンについて

- ・先進医療、臨床試験とは何か。自分も受けられるか。
- ・現在担当医に勧められている以外の治療法はないか。
- ・セカンドオピニオンを受けるにはどうしたらいいか。

医療者とのコミュニケーションについて

- ・担当医がいつも忙しそうに見え、どのように質問を切り出してよいか、わからない。

治療の副作用や生活面への影響について

- ・抗がん剤の副作用で、髪の毛が抜けると聞いた。ウィッグ（かつら）の情報が欲しい。
- ・治療による、妊娠や性生活などへの影響を知りたい。

緩和ケアについて

- ・緩和ケアとはどんなことをしてもらえるのか。
- ・治療に伴う不快な症状やつらさも緩和ケアで対応してもらえるのか。





よくある相談のご紹介

医療費について

- ・医療費のことで不安がある。自分が使える制度を知りたい。
- ・医療保険やがん保険など、民間保険の給付金・保険金の請求方法について知りたい。

家族とのコミュニケーションについて

- ・がんと診断されたことを、家族(親や子ども)にどう伝えたらよいか。ショックを与えてしまうと思うとつらい。

就労について

- ・がんについて会社にどう伝えればよいか。伝えることで、職場で不利になることはないか。
- ・仕事と治療を両立できるか心配。
- ・仕事の都合に合わせて、治療のスケジュールを調整してもらえるか。

周囲との関わりについて

- ・将来の恋愛や結婚に際して、がんのことをどう相手に伝えればよいか。
- ・地域の人に自分ががんであることを知られたくない。

自宅での療養・介護について

- ・自宅で療養するために訪問看護を頼みたいが、どうしたらよいか。
- ・自宅で療養中、急に容体が悪化したらどうしたらよいか。

よくある相談のご紹介

がんの治療について

- ・再発を告げられた。混乱して、気持ちが整理できない。
- ・担当医から「抗がん剤が効かなくなってきているため、治療を続けるかどうか、決めるように」と言われた。とても決められない。
- ・現在の病院では、これ以上治療ができないと言われた。他の病院で、効果のある治療を受けられないか。

緩和ケア病棟の利用について

- ・自分の住む地域で、緩和ケア病棟のある病院はあるか。
- ・緩和ケア病棟に入院するには、どうしたらいいか。
- ・今かかっている病院に緩和ケア病棟はないが、緩和ケアを受けることができるのか。
- ・緩和ケアを利用するにはお金がかかるのか。

今後の療養について

- ・自宅に退院するが、訪問看護、ヘルパー、介護用ベッドなどを介護保険で利用できるか。
- ・今後、家で療養をしたいと希望しているが、家族に迷惑をかけるのではないかと気がかり。





よくある相談のご紹介

気持ちの落ち込み

- ・がんの診断を受けて以来、やりきれない気持ちが続いている。
- ・再発への不安で頭がいっぱいになってしまう。

自分の気持ちを整理する

- ・気持ちが整理できていないが、漠然とした不安がある。
- ・特に大きな問題を抱えているわけではないが、自分の気持ちを誰かに聞いてほしい。
- ・これまでの治療や今後について、誰かに話して、気持ちの整理をしたい。

生き方

- ・自分と似たような状況の人の話を知り、参考にしたい。
- ・「がんを体験した自分」が、社会から取り残されたように感じる。これから、どのように生きていけばいいのか。

患者会・サロン

- ・同じような立場の人と話がしたい。地域に患者会はあるか。



ご家族からよくある相談のご紹介

がんの告知

- ・患者本人にはまだ告知していないが、どのように伝えればよいか。

患者と家族とのコミュニケーション

- ・患者本人が付き添いを嫌がり、一人で受診している。そのため、現在の体や治療の状況がよくわからず心配だ。
- ・がんと診断されて以来、患者本人が情緒不安定になっている。どのように接したらよいか。
- ・治療や仕事の方針について、患者本人と家族で意見が合わずに困っている。

介護・自宅療養について

- ・自宅で過ごさせたいが、どのような準備が必要になるか。
- ・患者本人は、「家族に迷惑がかかる」と病院での療養を希望しているが、家族としては家で過ごさせてあげたい。
- ・自宅での療養を支えられるか、不安がある。

家族自身の悩みについて

- ・心配で眠れない日が続いている。
- ・家族向けの支援制度を知りたい。



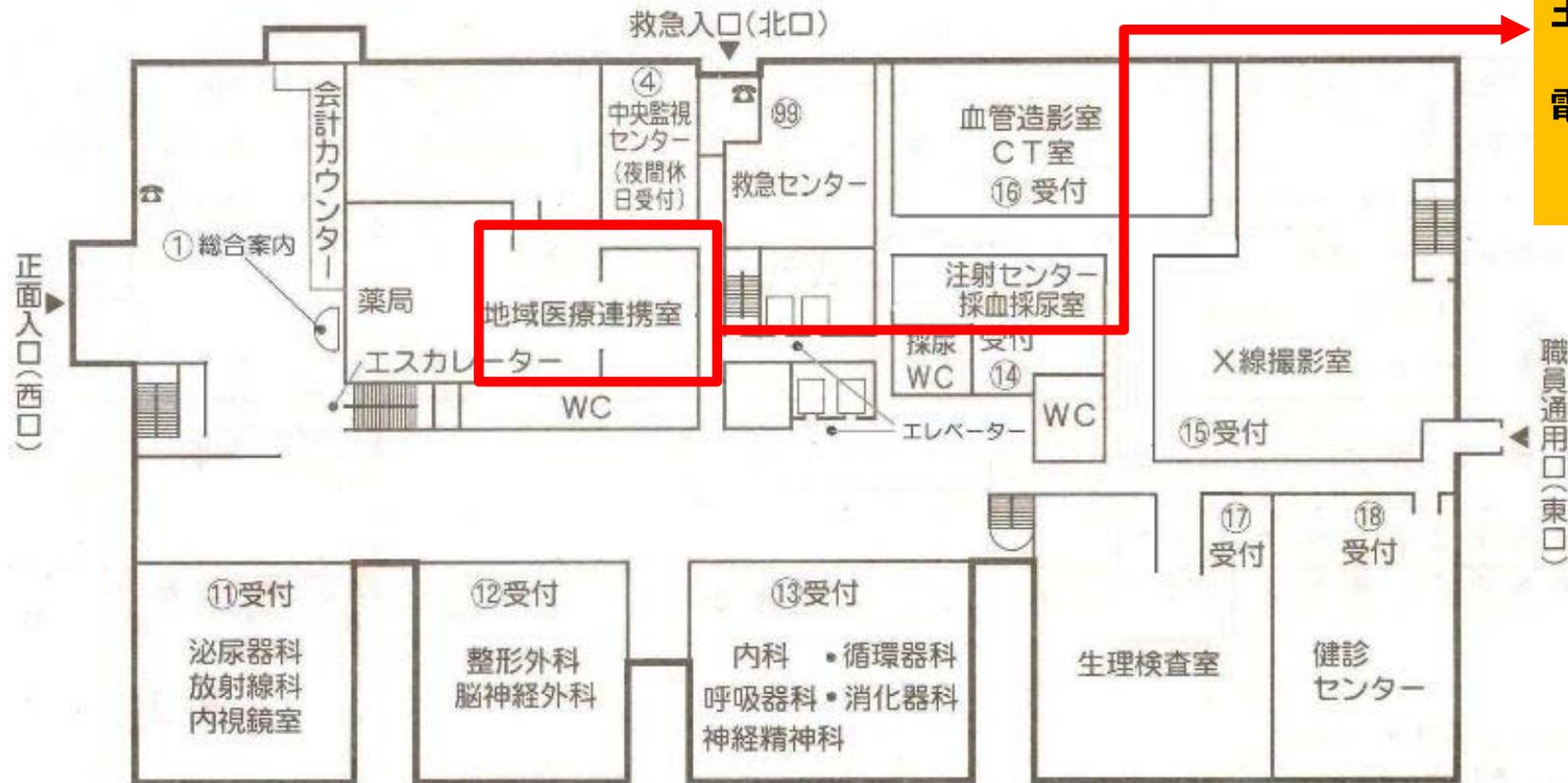
子どもの入院・治療・学校のことについて

- ・入院が長くなりそうだが、学校のことはどうしたらいいか。
- ・紹介された病院が自宅から遠くて困っている。

王子総合病院 がん相談支援センター（1階）



<1階平面図>



王子総合病院
がん相談支援センター
電話：0144-32-8111(代)
(内線263・390)



苫小牧市立病院 がん相談支援室（1階）



《一階平面図》



苫小牧市立病院 がん相談支援室
電話：0144-33-3131(代)
(内線1042・1046)
または
0144-84-0159 (直通)



がんの診断から治療、その後の療養生活、さらには社会復帰と、生活全般にわたって疑問や不安を感じたとき、一人で悩まず気軽に「がん相談支援センター」にご相談ください。